



世界への
プレゼントに
なろう

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

WEEKLY REPORT

No.2827 2015年12月21日

事務所 ひたちなか市海門町二丁目 8-13 ひたちなか商工会議所那珂湊支所内
 TEL.029(263)7811 例会日 毎週月曜日 12:30
 FAX.029(263)6859 例会場 常陽銀行湊支店二階会議室
 URL : <http://www.nakaminato-rc.com/>

★ 点 鐘

卯野福弥会長
 ロータリーソング「奉仕の理想」
 司会 海後宗郷副SAA

★ ビジター紹介

卯野福弥会長
 水戸東RC 木村 利様

★ 出席報告

榎木直行委員長
 会 員 数 32名
 出 席 者 16名
 欠 席 者 14名
 出席免除者 2名
 メークアップ 7名
 出 席 率 76.6%

★ 会長挨拶

卯野福弥会長
 今年も残すところあと10日となってしまいました。「光陰矢の如し」と言われますが、本当に月日の経つのは早いものです。

私たちの人生は片道切符の旅です。往きはあ
 るが、帰りはありません。2015年は、皆さんにとっ

て充実した年だったでしょうか。

7月に前会長の海後さんからのバトンを受け、本年度の会長を仰せつかり、第61代会長として皆さんのご協力と事務局のお力も拝借し、本日が今年最後の例会となりました。10月の創立60周年記念式典、11月のガバナー公式訪問、小学生と一緒に湊公園の清掃作業、12月のクリスマス家族会といういろいろな行事がありましたが、上半期が無事終わることができるのも皆様のご協力があったからこそと深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

1月からの下半期も引き続きよろしくお願
 いたします。来たるべき新しい年もすばらしい
 年になりますことをお祈り申し上げ、私の挨拶
 とします。それでは来年の1月18日にまたお会
 いしましょう。

★ 臨時理事会の報告

卯野福弥会長
 12月7日のクラブ総会で、次年度クラブ理事・
 役員・地区委員の発表を行いました。副会長
 が空席になっておりました。本日の臨時理事
 会に於いて下記の通り承認されましたのでお知
 らせいたします。

会 長	川崎 通夫
会長エレクト(会員組織委員会委員長兼務)	磯崎久喜雄
副会長(クラブ管理運営委員会委員長兼務)	菊池眞一郎
幹 事(役員)	菊池眞一郎
会 計(役員)	佐藤 利昭
会場監督・SAA(役員)	海後 宗郷
直前会長(役員)	卯野 福弥
職業奉仕委員会委員長(理事)	根本 博
社会奉仕委員会委員長(理事)	榎木 直行
青少年奉仕委員会委員長(理事)	菊本 隆広
国際奉仕委員会委員長(理事)	奥山 正紀
ロータリー財団委員会委員長(理事)	磯崎 孝
米山記念奨学委員会委員長(理事)	安藤 豊美
監 査(役員)	峯岸 邦夫
監 査(役員)	根本 隆
◎ 地区委員	
第2分区ガバナー補佐	鹿志村吉信
地区委員	海後 宗郷

★ 委員会報告

社会奉仕・ロータリー財団委員会合同セミナー
黒澤利勝委員長・藤咲久光委員長



2015-16年度社会奉仕・ロータリー財団合同セミナーが12月13日、筑西市のダイヤモンドホールで開催され出席して参りました。

午前中は「資金管理について」・「個別報告と次年度申請書提出について」・「グローバル補助金申請状況」・「ポリオプラスについて」・「財団寄付

とPHSについて」の説明が行われました。

午後は地区補助金活動事業報告で、各分区から選ばれたロータリークラブによる報告がありました。

来年3月に地区補助金対象「奉仕プロジェクト」の策定、いわゆる申請書の書き方セミナーについての開催が行われます。本年度同様、次年度の幹事が対象になるとのことでした。4月30日が締切となりますので、次年度会長・幹事さんよろしくお願ひ申し上げます。

★ クラブ協議会

「上半期を振り返って」

卯野福弥会長



今年度の上半期は通常のロータリー活動の他に創立60周年の記念事業・式典があったため、クラブとしての活動がこれまでにない忙しい期間となりました。会員の皆様のご協力により無事上半期を終えることができますことに心より御礼申し上げます。それでは、年度当初に発表した会長方針に沿っての反省を記してみたいと思います。

○ 創立60周年記念事業の達成

60周年記念に関する業務は、4月の公園緑地課への財産寄付申込書、ロータリー財団地区補助金申請書を皮切りに、60周年記念式典広告(茨城新聞)の原稿作成、会員への創立60周年記念式典・懇親会並びに太陽電池式電波時計除幕式の案内文の作成などのために、かなりの時間を費やしました。その他に7月から12月までの上半期だけでも実行委員会を幾度となく開催しました。磯崎孝実行委員長を中心とした実行委員会の皆様やクラブ会員及び会員夫人、そして事務局の周到な準備によりつつがなく創立60周年記念事業が実施できましたことに心より御礼申し上げます。

○ Back To Basics (基本に戻ろう)

ロータリー会員でなくロータリアンでありたい。「ロータリークラブに入会すれば会員には

なれるが、ロータリアンにはなれない。研修・研鑽を積んで初めてロータリアンになれる」との話をいつだったか聞いたことがあります。ロータリーは自己研鑽の場とされています。一人でも多くの会員が、ロータリアンになれるようなクラブ運営をしていかなければと思っています。未熟な私にとってロータリアンとなるべく本当に貴重な経験をさせていただいています。

○ 楽しいクラブづくり

できるだけ多くの会員とのコミュニケーションをとることが、楽しいクラブにつながっていくものと考えています。今年度、昼食時の座席を抽選で決めるようにしましたが、このことにより多くの仲間とコミュニケーションをとることができていることと思います。活動面では、11月に那珂湊第一小学校の3年生(57名)と一緒にはまぎくや電波時計周辺の落ち葉拾いなどを実施しました。また、12月のクリスマス家族会には、ご家族の方もたくさん参加していただき、参加者同士の親睦を図ることができました。また、楽しいクラブづくりのために卓話をさせていただいた会員の方々にも感謝いたします。下半期もプログラム委員会を中心に楽しいクラブ活動ができるよう努力していきたいと思っています。

○ 例会出席率の向上

例会にはできるだけ参加をし、地区内で少しでも上位へ進出できるよう願っていたところですが、創立60周年記念関係等のメイキャップも何回かあったため、例年に無い出席率の高さが見られました。ご協力ありがとうございました。

○ 会員増強でクラブの活性化

現会員がロータリアンとして誇りを持ち活動できるように自己啓発に努めている姿が会員増強につながっていくものと考えています。今後とも会員増強については、皆さん一丸となって意を用いていきたいものです。

○ 公共イメージと認知度の向上

一般にロータリークラブの認知度については、4人に1人しかロータリーを知らないと言われています。そこで、除幕式当日の茨城新聞には紙面3分の1大のカラーの広告を掲載しました。また、電波時計の除幕式に関する記事が、写真入りで「茨城新聞」と「市報 ひたちなか」にも掲載され、ロータリークラブの認知度の向上に一役買ったものと思っています。それ以上に湊公園に設置した電波時計は、湊公園を訪れる人達にロータリークラブの公共イメージと認知度の向上にも役立つものと考えています。こ

れからも那珂湊ロータリークラブの活動の様子を地域住民に知ってもらうため、リニューアルしたホームページやロータリー情報館への投稿などにより公共イメージと認知度の向上に努めていきたいと思っています。

下半期も引き続きご協力を賜り、楽しい例会、楽しいクラブづくりに努めていきたいと思っておりますのでどうぞよろしく願いいたします。

遊座文郎幹事



7月から会員の皆様の御協力のもとで、クラブ幹事として過ごしてまいりました。今年度は創立60周年記念式典という大きな事業がありました。10回を超える実行委員会を開催して綿密な計画を立てて準備し、卯野福弥会長、磯崎孝実行委員長の陣頭指揮のもとでクラブ一体となって、また、基隆クラブからも多数の参加があり、素晴らしい式典となりました事が強く印象に残っております。

会員の現況ですが、7月に川崎誠会員が入会されまして現在会員数32名です。また今回磯崎泰志様の入会が決まっておりますので33名となり、純増2名となります。出席率ですが、7月は85.56%、8月91.67%、9月と10月は100%と良好な出席率となっております。これは、創立60周年記念実行委員会等のメイクアップが関連していると思いますが、今後もこの良好な出席率が続きますようお願い致します。一方で、出席が少ない会員につきましては、会員同士での接触の機会などがありましたら出席を勧めて頂きますようお願い致します。それから、ガバナー公式訪問の際にガバナーよりご指摘を頂きました件の一つですが、ニコニコボックスの総額が他クラブに比べて少ないようですので、折に触れてニコニコできることがありましたらボックスへのご協力をお願い致します。

幹事として任期の半分が過ぎたわけですが、幹事として充分と言える仕事が殆どできません

で、卯野福弥会長には多くのご負担をお掛けする結果となって申し訳なく思っております。2にはIM、3月は地区協議会、4月は地区大会等の予定がありますが、会長始め、役員及び会員の皆様、また事務局のご協力、ご指導を得ながらできる限り任務を遂行して行くつもりでございますのでよろしくお願い致します。少し早いかもしれませんが、今年最後の例会ですので、良いお年をお迎え下さい。

ロータリー情報 2016

炉辺談話総集編 その34

◆ 炉辺談話の発祥(その2)

ハーブ・アングスターが50歳の若さの頃に戻ってみよう。彼はゲストたちに、多分、最近の不景気のことや、ドイツの問題で沸き立っている政治の舞台や、我々の居間にあるテレビのような意外と新しい可能性や、前世紀に湖岸で行われた発展博覧会には、ショー・ケースを陳列したのかどうかといったような話題を提供していたに違いない。それが1965年には、テレビカメラを月に向けて発射するとか、タバコの箱に癌の警告を義務づけるとか、女性のトップレスの水着とか、西海岸から東海岸まで30分で飛行するとか、話題はほとんどない内容にそれていったに違いない。話題は変わっても、それを議論することはいつも楽しいことである。このファイアサイド・ミーティングは、ロータリアンが集まる場所では何処でも、ゴルフ・コースでも、ボーリング場でも、ヨット・クラブでも、いわんや火曜日の昼食のテーブルでも、人々はしばしば「……の時のことを憶えているかい……」と口を滑らせることを、避けて通れない運命にあった。回想は、いつも男たちの会話の生き生きとした幸福な一部であった。年輩の者だけが、去りし日々を忍ぶのではなく、すべての年齢の人々は、過去を回想し、そのことを話すのが好きなのである。子供でさえも。

「私は、チャーリー・コミスキーが我々のクラブに入ってきた時のことを覚えているよ。彼は有名人だった。」1965年12月に暖炉の前で、一人のシカゴの男が言った。「もう、その話は止めてくれよ!」ロータリアンの同僚が、話をさえぎった。「またそんなことを言って……チャーリーは1913年に入会したんだよ。私は、たまたま、9歳だった当時の君のことを知っているんだよ。」最初に口火を切った男はやりと笑った。「そうとも。私が言いたいことは、あらゆる年代の人が、チャーリーに関して聞いたことを覚えてい

ると言うことだよ。だけど、私が9歳だった頃でさえ、彼は、私のヒーローだった。お分かりかな? 彼が入っているクラブと同じクラブに入るほど、私が成長するなどは決して思わなかったよ! 私は、アブラハム・リンカーンの伝記よりも、ずっとよく彼の生き様を知っているんだよ。」「彼は1876年に、17歳の年で、ミルウォーキー・チームで野球を始めた。後に、セントルイス・ブラウンズのマネージャーとして、1885年から1888年まで、4回連続してチームに優勝をもたらした。そして、1900年に、彼はシカゴ・ホワイトソックスのオーナーになったんだ。」

「彼が会員になってロータリーに出席して、始めて卓話をした日に、野球の裏話をして、陽気な馬鹿騒ぎをする機会に変えてしまったんだよ。そこで、2週間の間彼に注目していると、次の週の昼食例会で、大きな事業としての野球について話をしたんだ。その日の結論として、クラブは次の土曜日をコミスキーの日とすることを満場一致で決めて、会員のほとんど全員が、セントルイス・ホワイトソックスの試合を見るために、車を借り切って、家族と共に参加した。君たち、これが、ロータリーへの入門なんだよ!」野球の話が加わって、更にすばらしい1時間だった。その後で、夫人がコーヒーと4層の厚いケーキをサービスし、男たちは、チョコレートとピーカンに舌鼓を打った。ロータリーの魅力とは、そのような機会を通じて、大きな高まりを受けとめることである。ロータリーを回想すれば、半ダースにも及ぶ著書に、収まり切れるものではないだろう。しかし我々は、少なくともここに確実に記録され、しばしば語られた幾つかの事柄について、既にみんなが満喫したように楽しみたいものである。金色の歯車のケースを手にして出かけることをお勧めしたい。特に、かなりの年輩の人ならば、この象徴的なファイアサイド・ミーティングによって満ち足りた気持ちになることは必定である。

山上門 (巻頭写真説明)

山上門は、もとは勅使奉迎(ちよくしほうげい)のため水戸藩江戸小石川邸(文京区後楽1丁目)の正面右側に設けられたもので、後に屋敷内の「山上」と呼ばれる場所に移築されたことが名称の由来であるといわれている。昭和11年に名誉市民の深作貞治(ふかさくていじ)氏が、当時の陸軍省から山上門の払い下げを受け、当地に移築しました。小石川邸の建物のほとんどが失われた現在では、歴史的に重要な価値を持つといえる。

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」